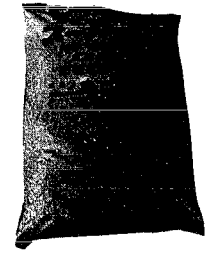


# 「サトイモ」転作田を視察して

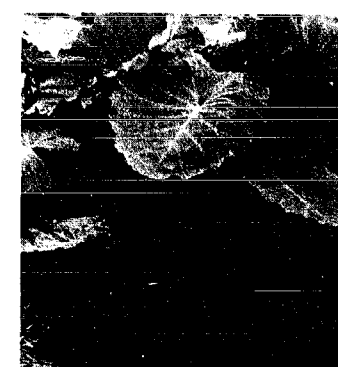
大別当 小林正義

大別当農家組合生産部では、福島県のサトイモ産地を視察いたしました。毎年、各地を視察し生産技術の向上はもとより、有望作物の選択的導入に役立てようとして行っているもので、今回は去る八月二十五日、同県の須賀川市の精農家を訪れ、サトイモの栽培技術を学びました。参加者は月潟村農協の田辺さん、内藤さんを含め一行十七名。



多収の秘決はスーパーコン

現地に到着するや、サトイモを見て驚嘆いたしました。そのサトイモは初めて見る太く、大きな茎葉でありました。早速、栽培の秘訣やらを伺ってみました。当人も初めての試みでもあると前置きされながらも、「サトイモは土づくりから始まる。このため作付した18アールは水田転換であることからスキを使って耕度を深くし、同時に自分で飼っている豚の糞とオガクズによる活性堆肥を



超多収が期待されるサトイモ畑

10アールに10トン散布したのみで埋立てや客土はしてない。播種期は四月五日に一五〇cm×五〇cmの密度で反当一五〇株とし、植え込みにおいては種イモを立ててしかも地表から三〇cm位の深さとなるようにした。その後、N肥料は使わずP・K化成を施し茎葉あるいはイモの肥大効果を高めている。収穫は初霜の降る十一月頃から始まるが、収量目標は、10アール少なくとも七トンは上げた。と豪語されていた。サトイモの品種は「えくいも」で出荷調整をも考えているとの事でした。ちなみに粗収入額を試算してみるとkg当二〇〇円で五百五十万円、一五〇円でも百二十万円と一時避難的措置をして青刈稲を作っている私には今一歩転作に対する考え方を要求させられたような気がいたしました。

# 9月20〜26日 動物愛護週間

ネコブームなのだそうですが、ネコに限らず動物たちにしてみれば、単にブームだからといって飼われたのでは、たまったものではなんでしょう。

動物は、あくセサリではありません。ブームだから、だれそれさんも飼っているから——といったような単純な理由だけで動物を飼おうとする態度は、自戒したいものです。

最後まで飼う——終生飼育——という自覚と責任をもって、その動物の生理・生態・習性をよく理解して正しい飼育を心がけましょう。

動物は「買う」ものではなく、「飼う」ものです。買って来た当座は物めずらしさも手伝って家族みんながわれ先にかわいがらるが、何日かたつと飽きてきて、だれも面倒をみないというのでは困ります。動物を飼う場合は、家族全員でよく話し合って、責任者を決めておくとよいでしょう。

九月二十日〜二十六日は「動物愛護週間」です。いま一度、わたしたち人間と動物の望ましい関係について考えてみたいものです。



# 子供と高齢者の安全運動

今年も九月二十一日から三十日までの十日間、秋の全国交通安全運動が繰り広げられます。今年に入って交通事故で亡くなった方は、六月末日で三千九百二十三人(全国)です。昨年の同じ時期に比べて、二百二十一人(五・一%)減つていますが、交通事故の発生件数および負傷者の数は、逆に増えているのが特徴です。

また、亡くなった方では、相変わらず子供とお年寄りが多く、原動機付き自転車の事故による死者も増えています。

# 原動機付き自転車の死亡事故が増えています

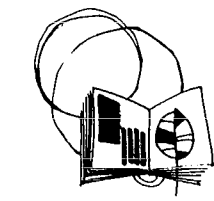
全身で風を切って走る この快速さはバイクならではのものです。



なかでも50CC以下の原動機付き自転車の人気は高く、保有台数も全国で約七百万台と全バイクの七割以上を占め、最近では女性ドライバーの増加が目立ちます。ところが、こうしたバイク人気とともに増えているのが交通事故です。

も合せて、道路交通の上で、弱い立場にある人々の犠牲が目立っています。こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ると「スピード違反」をトップに「わき見運転」「酒酔い運転」と続き、この傾向はここ数年まったく変わっていません。このようなスピードへの慣れや、ちょっとした油断などドライバーとしての基本的事柄をきちんと実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。

がら増え続けています。原動機付き自転車は、女性も手軽に乗れる半面、四輪車と違って全身が常に外部にさらされていますので、ひとたび事故を起こすと取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。



原動機付き自転車は、時速三十キロ以上で走ってはいけません。スピードの出過ぎは、急ブレーキの原因となり、転倒する危険性が伴います。また、急発進も事故のもとです。

# 10月7日(日)は 衆議院議員総選挙の投票日です

良い政治への出発点は、それは明るい選挙にあり。入場券をなく、より私たちの投票する一票に始まります。大切な私たちの一票です。棄権をしては明るい平和な国づくりは出来ません。私たちに代わってよりよい生活を作りだしてくれる「この人」と思う人に必ず投票しましょう。

投票できる時間 投票できる時間は午前七時から午後六時までです。あなたの一票をムダにしないように！

# 投票のご注意

投票できる人 \* 満20才以上の日本国民は選挙権をもっており、選挙人名簿に登録されていない場合は投票することができません。

\* 不在者投票 \* 投票日にやむを得ない用務などで投票所に行けない人は前もって不在者投票をすることができます。詳しいことは市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

\* 入場券を持って \* 投票日にはやむを得ない用務などで投票所に行けない人は前もって不在者投票をすることができます。詳しいことは市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

\* 字が書けないとき \* 自分が書くのが原則ですが、身体が不自由だったり、字が書けないために、自分で投票できない人は、当日係員に申し出て下さい。係の人がかわって立会人の立会の上で書いてくれます。誰に書いたかはゼンタイ他人に話してはならないことになっています。

# 原動機付き自転車の安全な乗り方

交差点では一時停止を

ほかの車から見やすいところを走ろう

法定速度を守ろう

点検整備を忘れずに

事故の約三割は、交差点での出合いがしらに起きています。交差点では、スピードを落とすかいったん停止して左右をよく確かめてから、渡りましょう。

車体が小さいために、大型車の運転席からは死角に入りやすいので、注意しましょう。左折時に巻き込まれないためにも、大型車と並行して走るときは、十分気をつけたいものです。

ヘルメットをかぶろう

自動二輪車による死亡事故の七二%は、頭部損傷によるものです。ヘルメットはJIS規格のものなど良質のものを選び、あごひもをきちんと結んで正しくかぶりましょう。

